

対話から始まる 協働のまちづくり

市民7人から意見・提言

市は、5月24日、あじさい館において、市民懇談会を開催しました。

懇談会は、市民の皆さんが持つ多様な意見・知識を市政に反映し、市政参画と協働によるまちづくりを目的に行なったもので、当日は、約60人の市民が参加し、貴重な提言をいただきました。

また、昨年の市民懇談会に引き続き、「あなたが主役の環境保全活動」

次に、まちづくり活動の実践者2人からの事例発表と、市民7人からの意見・提言に坪井市長と関係部長などが懇話した内容をご紹介します。（※内容は、概要のみを掲載しています。）

◆市民懇談会に関する問い合わせ先
広報広報課 ☎内線一一五二

事例発表

「あなたが主役の
環境保全活動」



かなはらのぶゆき
金原信之氏
茨城県地球温暖化
防止活動推進員

地球環境を大切にすることは家族を大切にすることと考え、省エネルギー型ライフスタイルへの転換を決意し、我々は「省エネルギー研究会」というグループをつくり活動を開始。目標は、「環境を考えることは未来を考えること」「限りあるエネルギーを有効に活用すること」であり、それには現在の生活を改善し、次世代に引き継ぐ必要がある。省エネは金な

り、だけでなく、エネルギーをつくる時から使う時まで一貫してエコロジーを追求し、地球の負担を減らしていくべきと考える。一人一人の節約が大きな輪に広がってほしいと思う。

「男女共同参画計画策定に
関する答申について」



かいほ まみ
海保真美氏
かすみがうら市
男女共同参画推進委員

まちづくりの主人公になれるまちを市民、事業者、市が一体になって創り育てるためには、あらゆる分野への男女共同参画が必要な条件。ここで、男女共同参画社会の実現に向けて、市の目指す方向を明らかにし、計画的に推進するため「かすみがうら市男女共同参画計画」を策定した。

計画の基本理念は、「男女共に生きふれあい育む豊かなまちを目指して」。男女と書いて、「ひととひと」と読む。男女が互いにその人権を尊重し、性別にとらわれないで、個性と能力を十分に発揮できる社会や、日常生活のあらゆる場で活発な活動を促す取り組みを展開していくことなどが計画の趣旨である。

懇話

交通体系の確立について、県では現在、茨城県公共交通活性化指針で県内各地域の交通事情に合わせた研究会を設置し、コミュニティバスの効率的な運行や隣接自治体を含めた広域圏での公共交通の活性化を図ろうとしている。市でも積極的な取り組みを行なっている。

（回答）コミュニティバス運行については、本年4月に運行時間帯などの改正を行なっており、今後の運行は、状況を見ながらより良い方向に改善していきたい。

また、茨城県公共交通活性化指針に基づき、近隣市町村とコミュニティバスやデマンドタクシーなどの効率的な運行に関して研究会を設置し研究を進めているところであり、行政としてもより質の高い交通体系の早期確立に努力したい。

風力発電について、雪入ふれあい観光開発にも大きな役割を果たし、利益が伴うのでまちの活性化が図れるのでは。

（回答）二酸化炭素の排出がなく、環境に優しいということで風力発電が増えている。設備投資や維持費などや採算性の問題、また、発電に必要な風力の問題などはあるが、環境保全に対する対策、さらには自然環境の豊かな本市

のイメージ向上などが見込まれるなど検討の必要性があるため、今後研究していきたい。

外国語教育について、かすみがうら市の恵まれた地域を生かし、太田市のように国際アカデミースクールを誘致したまちの活性化、教育を主としたまちづくりを目指してはどうか。

（回答）教育については、まちの担い手を育成するためにも最大の政策である。また、紹介いただいた群馬県の太田市については担当者とともにさらに研究をしていきたい。

テーマのあるまちづくりを目指し、市民のボランティアによる、小学生から高校生を対象とした生活の知恵を学ぶ講座の開設や、親子で食の安全・食育を考える農園を開講してはどうか。



（回答）今年からまちづくり委員会を立ち上げて、市民の皆さんの意見を聞く場を作ろうと準備をしているので、皆さんからいただいたテーマを十分議論していきたい。公民館、女性の家、雪入ふれあいの里公園、郷土資料館などで講座を開いているが、講座の幅や内容を検討したい。

また、市民ふれあい農園を以前から実施しているが、食育の面での農園づくりについて研究していきたい。

よさこいソーラン、和楽器や洋楽器を使った野外音楽祭など、若い世代を含め市民が一緒になって参加し地域を盛り上げるイベントを開催してはどうか。

（回答）「かすみがうら祭」「あゆみ祭り」「生涯学習フェスティバル」の中で幅広い人の参加、みんなが愛着の持てるお祭りにしていきたいと考えている。地域の良さを生かしたイベントの実施について、今後とも提案いただきたい。

国保税の改定について、大幅に値上げされている理由とは。

（回答）国保会計は、皆さんからお預かりする国保税と一般会計からの繰り入れにより成り立っている。しかし、医療費は年々増加しており、今回値上げを提案したところである。大変ご迷惑をかけますが、国保会計を健全に進めること、皆さんの健康を守るという視点からご理解いただきたい。本年も全庁あげて収納の対策にあたりたい。

下郷吉小中学校には、建築後40年以上経過したため老朽化が進んでいる校舎がある。安心安全な校舎となるよう早急な建て替えを行なっている。

（回答）PTAを中心に全面建て替えに関する陳情書が提出され、市議会においても採択されている。財政的な問題から、本年3月に、教育を目的とした基金を創設したところである。早い段階でどういった方法で進めていくのか検討し、前向きに取り組んでいきたい。

学区編成と小中学校の統合を考える時の取り組みは。

（回答）今年4月に茨城県教育委員会が小中学校の適正規模について、小学校については12学級以上、中学校については9学級以上が望ましいとの指針を発表したところ。市においても保護者の意見や地域の意向を学区審議会と協議いただき、今後のあり方をまとめていきたい。

志筑小学校の建て替えが進められているが、児童数が年々減少している中、近隣の小学校を視野に入れて、検討してはどうか。

（回答）志筑小学校については、児童数が減少しているところではあるが、危険校舎にもなっていて、建て替えは必要と考える。また、学区編成による対応も考えた新校舎づくりをすることで、有効に活用できると考えての建設であるためご理

解いただきたい。

霞ヶ浦庁舎の建設について、分庁舎方式にするメリットとは？霞ヶ浦庁舎の建設について住民投票をしたらいかがか。

（回答）霞ヶ浦庁舎は老朽化がひどく、事務執行上も支障が出ている状況であり、早急な対応が必要である。本来は本庁舎が望ましいが、本庁舎を作った場合の費用対効果などを考え、規模を縮小してでも霞ヶ浦庁舎を建て替えることが必要である。

また、委託契約をした現段階で住民投票を実施することは、市政の混乱を招くことも考えられる上、市議会において議決をいただいているので、今後は皆さん方が利用しやすい、効率的な庁舎建設に努めていくのでご理解いただきたい。

保育所の統合および民営化について、教育・福祉の問題は、経済性のみで考えてはならない。保育所を統合し民営化するのはなぜか。

（回答）来年4月から霞ヶ浦地区の保育所は6カ所を3カ所に統合する準備を進めている。この統合は、決して経済的な効果のみを見込んでのものではなく、現在の霞ヶ浦地区の保育所の入所率が約6割と低いこと、0歳児保育、延長保育などの幅を広げる理由により統合が必要である。

効率・サービスの面から民営化によって充実した保育が可能であると考ええる。